

Mariko Otakane

小高根 真理子

ヴァイオリンリサイタル

Vol.
29

Program

ドヴォルザーク：ソナチネ 作品100
A. Dvořák: Sonatina Op. 100

ベートーヴェン：ソナタ 第8番 ト長調 作品30-3
L. v. Beethoven: Sonata for Piano and Violin No. 8 in G major Op. 30-3

シマノフスキ：3つのパガニーニのカプリス 作品40
K. Szymanowski: 3 Caprices de Paganini Op. 40

ヴィエニャフスキ：ロマンス
H. Wieniawski: "Romance" from Violin Concerto No. 2 Op. 22

ヴィエニャフスキ：スケルツォ・タランテラ 作品16
H. Wieniawski: Scherzo-Tarantelle Op. 16

スメタナ：わが故郷から
B. Smetana: Aus der Heimat



ピアノ：長尾 洋史

2019年

5月8日 水 開演 19:00
開場 18:30

アミュゼ柏 クリスタルホール

全席自由 ¥3,000

チケット取扱い

アミュゼ柏
Tel:04-7164-4552

ミニヨンコンセール
Tel:04-7146-2068
E-mail: mariko.otakane@gmail.com



ご来館はなるべく公共交通機関をご利用ください。
お車のご来館の場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。

Profile



小高根 真理子

<ヴァイオリン>

Mariko Otakane
Violin

幼少の頃よりヴァイオリンを始め、中西忠、古武滋野、東儀祐二の各氏に師事。東京藝術大学を経て同大学院修了。在学中、岩崎洋三、フリッツ・ネアンダ、海野義雄の各氏に師事。その後、ウィーン国立音楽大学入学。「ウィーン・アルバンベルク弦楽四重奏団」の第1ヴァイオリン奏者のギュンター・ピヒラー氏に師事し、1976年最優秀賞を受け同校卒業。帰国後、「東京ゾリステン」に在籍。都内にて独奏・室内楽の活動を行う。1985～2018年の間に東京で15回、柏で10回、松戸市、和歌山で2回、計28回のソロ・リサイタル開催。また、市役所、公民館、学校、病院等でのサロンコンサートをはじめ、数多くのコンサートに出演。1998年「土屋文化振興財団」より表彰される。埼玉県立大宮光陵高校音楽科、埼玉県立松伏高校音楽科講師を歴任。鎌ヶ谷音楽学院講師。流山市音楽家協会会員。モーツァルティアン・フェライン会員。日本クラシック音楽コンクール審査員。

CDは、「小高根真理子ヴァイオリン名曲アルバムⅠ (LMCD-1928)」「小高根真理子ヴァイオリン名曲アルバムⅡ (LMCD-1980)」「アルバムの一葉 (DCJA-21038)」が好評発売中。



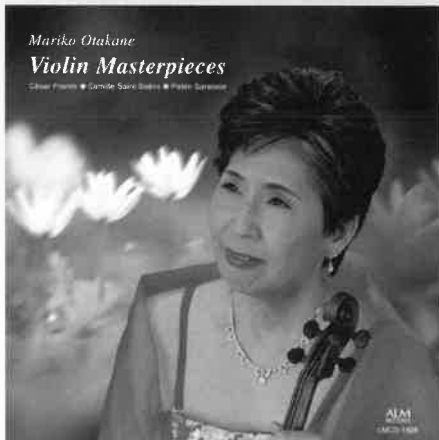
長尾 洋史

<ピアノ>

Hiroshi NAGAO
Piano

東京藝術大学、同大学院修士課程を修了。安宅賞を受賞。宗廣祐祐、遠藤道子、米谷治郎の各氏に師事。1995年、パリ・エコールノルマルに留学。国内の主要オーケストラとの共演、ソロ・リサイタル、国内外の作品の初演、主要音楽祭への出演、ミシェル・ベッケ(Tb)、エリック・オビエ(Tp)、ジャン＝イヴ・フルモー(Sax)、パーヴェル・ベルマン(VI)などの国内外の奏者と共演するなど、その活動は多岐にわたっている。ソロCDは「エゴカシオン」「長尾洋史プレイズ ラヴェル & ドビュッシー」(ライブノーツ)、「リスト&レーガーを弾く」(コジマ録音)などをリリース。透明で芯のある美しい音、緻密で精巧なテクニックの中に、非常にみずみずしい音楽を聴かせることのできる数少ない演奏家である。国立音楽大学准教授、東京藝術大学非常勤講師を歴任。

リリース情報



小高根真理子 ヴァイオリン名曲アルバム

1. サラサーテ: ツィゴイネルワイゼン
2. サン＝サーンス: 序奏とロンド・カプリチオーソ
3. サン＝サーンス: ハバナラ
4. フランク: ヴァイオリンとピアノのためのソナタ

ウィーンで学び、ギュンター・ピヒラーに師事した小高根は、なによりも深みのある音色を活かしながら、フランクの演奏にありがちな深刻ぶったスタイルに陥ることなく、さらりとした表情づけを基本に、重すぎもなく、かといってけって浮薄ではない音楽作りでじっくりと作品に向き合っている。サン＝サーンスの軽妙な味も堪能できよう。
【長木誠司氏(ライナーノートより)】

¥2,500(税抜)

ミニオンコンセルまでお申し込みください。
Tel: 04-7146-2068
E-mail: mariko.otakane@gmail.com



小高根真理子 ヴァイオリン名曲アルバムⅡ

1. エルガー: 愛の挨拶
2. パガニーニ: カンタービレ
3. ボルディーニ: 踊る人形
4. ドビュッシー: 美しき夕暮れ
5. スメタナ: わが故郷より
6. ドヴォルザーク: 我が母の教えたまいし歌
7. プロコッポ: 『パール・シエム』より「ニグン」
8. モンティ: チャールダッシュ
9. ペートーヴェン: ヴァイオリン・ソナタ 第9番「クロイツェル」

〔クロイツェル〕は、ウィーンで学びギュンター・ピヒラーに師事した小高根にとっては自家薬籠中の作品。気品ある音色と緻密な構成感で、この曲の音楽世界を充分に堪能させてくれる。一方、小品集の方は何よりその、気負いのないこなれた演奏スタイルが耳に心地よい。(室田尚子氏のライナーノートより)

¥2,500(税抜)

ミニオンコンセルまでお申し込みください。
Tel: 04-7146-2068
E-mail: mariko.otakane@gmail.com



アルバムの一葉

1. クライスラー: フランクールのスタイルによるシチリアーノとリゴードン
2. クライスラー: ブニャーニのスタイルによるテンポ・ディ・メヌエット
3. ワーグナー: アルバムの一葉 (ロマンス)
4. ゴドフスキ: 古きウィーン
5. ジャジツキ: サラサーテのためのマズルカ
6. R. シュトラウス: ヴァイオリンソナタ 変奏長調
7. イザイ: 無伴奏ヴァイオリンソナタ第2番

R・シュトラウスのヴァイオリン・ソナタの第1楽章をまず聴いて頂きたい。何と若々しい青春の香りが感じられることか。その音色の輝かしさは、シュトラウスの作品に相応しく、フレーズの起伏が見事で、伸縮自在な表現の多彩さがある。CDのタイトルが「アルバムの一葉」とあるが、普段あまり一般のヴァイオリン奏者が近寄らないレパートリーを、思い切って取り上げているところにも、小高根真理子のユニークな狙いがある。今忘れられつつあるヴァイオリンの懐かしいファイルを紐解くという作業をやってくれたのだ。(幸松肇氏のライナーノートより)

¥2,500(税抜)

発売元: ディスククラシカジャパン
http://www.disc-classica.jp/